

令和6年2月7日

本学附属中学校が文部科学大臣賞を受賞 全国学校・園庭ビオトープコンクール 2023

令和6年2月4日（日）に東京国立博物館平成館の大講堂で行われた全国学校・園庭ビオトープコンクール2023の表彰式にて、本学附属中学校が「文部科学大臣賞」を受賞しました。同コンクールは、平成11年から隔年で実施し、平成17年からは、秋篠宮皇嗣殿下にご臨席賜り開催しており、今回で13回目（25年）となります。また、福島県内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学では、25年間で初の受賞となりました。表彰式後には、受賞校を代表して、生徒7名と教員2名がビオトープ活動について事例発表を行いました。

附属中学校では、本学共生システム理工学類の黒沢高秀教授と塘忠顕教授から専門的な助言を受けながら、ビオトープ活動に取り組んでおります。今年度は、2名の大学教員から計4回の講義と実習を行いました。これらの学びを生かし、理科や総合的な学習の時間などの授業で、生物多様性や環境保全について学んでいるところです。

令和5年10月27日には、本校の生徒たちが「ふくしまビオトープ子どもサミット」を主催し、オンラインにて運営を行いました。このサミットは、未来を担う児童・生徒たちが「ビオトープ」というテーマで福島の生物多様性や環境保全について意見交換し、児童生徒が主体的に環境学習や保全活動に関わっていくこと目的として実施しました。福島県内から、計8校（40名以上の児童・生徒・教員）の参加があり、環境学習の有用性を実感したところです。

また、10月30日、11月1日に開催した学習指導法研究会では、参観された約330名の教員に本校の生徒たちがビオトープ活動を発表しました。

これらの活動が日本生態系協会に認められ、全国学校・園庭ビオトープコンクール2023にて、文部科学大臣賞を受賞し、授賞式後に、事例発表を行うことになりました。

（お問い合わせ先）

福島大学附属中学校・教頭 甚野 隆洋

電話：024-531-3032（直通）

メール：fucyu@adb.fukushima-u.ac.jp

福島大学附属中学校

全国学校・園庭ビオトープコンクール2023

文部科学大臣賞を受賞

第182回定例記者会見 2024.2.7

発表者 福島大学附属中学校

研究主任 関本 慶太 理科担当 渡邊 君庸

ビオトープ活動の主な担当教員の紹介

理科担当



総合担当



委員会 担当



※教科の枠を超えて、多くの先生がこのビオトープ活動に関わっております。

Before



生徒の主体的活動



After



代表生徒

1 学年生徒 4 名

3 学年生徒 3 名

長谷川慶佑
佐藤 瑞季

阿部 紘
菊田 彩花

阿部蒼太郎
鈴木 楓果

進藤 琉生

教 員

副校長 遠藤 博晃

担当教諭

関本 慶太

